

きょうまで道の駅なかせん **多彩な大仙の味、一堂に**

肉みそなど販売



高校生らが売り場に立った販売会

大仙市産の肉やコメを使った商品の合同販売会が 2 日、同市長野の道の駅なかせんで始まった。中仙地域特産の杜仲豚とジャンボウさぎを使った肉みそなどが並び、買い物客が品定めした。きょう 3 日も午前 9 時半から行い、商品がなくなり次第終了する。

肉みそは市内の飲食店と市が共同開発し 2 日に発売。漢方薬に使われる杜仲の葉を餌に混ぜて飼育した「杜仲豚」の肉みそはグランドパレス川端（同市大曲）が、ジャンボウさぎ「中仙月夜」の肉みそは「ちゃんす長野屋」（同市長野）がそれぞれ監修した。市内産の大豆とコメを原料に作った減塩発酵食品「大仙醬」を使い、ご飯や酒に合うように味付けした。110 ㍺瓶入りで 750 円。

このほか、秋田大の学生が酒米作りから醸造まで携わった日本酒「宵の星々」の新酒と、大曲農業高校の生徒が、地元産米を使って開発した菓子も売り出された。大学生や高校生が売り場に立ち、買い物客に商品を PR した。



宵の星々は、市内の酒造会社の 5 銘柄を統一ラベルで販売するプロジェクトで醸造。720 ミリリットル入りの 5 本が 1 セットで、千セット限定。990 円。大曲農業高生が開発した菓子は米粉入りチーズクッキー「Hi CHEESE！」（ハイチーズ、2 枚入り 230 円）と、コメのドン菓子をチョコレートでコーティングした「チョコっPA！」（350 円）。

いずれも道の駅なかせんで引き続き販売し、宵の星々は県内酒販売店やオンラインでも取り扱う。

（佐藤将弥）

（令和 6 年 3 月 3 日（日）秋田魁新聞より一部抜粋）